

船橋市鍼灸マッサージ師便り

28年秋冬号

寒さ厳しい日々が続き、ぬくもりの恋しいこの頃、会員の皆様には、いかが、お過ごしでしょうか？

前期に続きまして、今年度後半のお知らせを、お届けします。



1. 9月22, 23日、東洋療法推進大会が、品川で開かれました。当会では、室田、藤林、米良、上中、椎名の各先生が参加され、各先生方には5000円づつの補助をさせていただきました。今回は、あなたが参加してください！各先生より、報告書が届いておりますので、ご紹介いたします。

まず、室田先生より報告します。

- (1) テーマ：スポーツと体の対話～コンディションを把握する大切さ～

講師：室伏由佳(2004年アテネオリンピック女子ハンマー投日本代表)

女子円盤投、ハンマー投のアスリートとして活躍された現役時代を、お父様でありコーチの重信氏とのエピソードなどを交えながらの講演でした。

現役時代の大部分は、原因不明の腰痛を抱えながら競技をされていたそうです。それでも好成績を出していたことや、近くに病院や治療院などの施設がなかったことから、しっかりと治療に向き合うことはできていなかったとのこと。実際に大会前には腰痛で歩くのにも支障が出ていたのにもかかわらず、その大会で優勝できたり…。(報道だけではわからなかったですが、本人から直接伺うともの凄いリアリティがありました)

また練習で良い記録が出ていても、大事な本番の大会では緊張して結果が出ないなど、メンタル面の弱さもあったとのこと。それでも心と体を必死にセルフコンディショニングしながら、競技に無我夢中だったそうです。

競技人生の晩年には、ようやく信頼できる理学療法士との出会いがあり、専門的な医学的知識を得ながら競技が出来るようになったそう。スポーツ医がさらに専門の医師を紹介してくれて痛みの原因が特定し、痛みが軽減した経験談も披露していただきました。



講演受講者しか見られないという室伏先生の血液検査の数値や、画像所見なども見せていただき大変貴重な講演でした。

では次に、藤林先生からです。

(2) 東洋療法推進大会の報告書

9月22日・23日に第15回東洋療法推進大会が初めての東京開催となりました。

大東京のど真ん中品川プリンスホテルにて東京都師会並びに各関東ブロックの師会の協力のもと素晴らしい大会となりました。あいにくの雨でしたが1000名を超える参加者を集め熱い大会でもありました。

特別講演も2つ用意され、最初は川越の三敬病院名誉医院長「帯津先生」による“養生とは「生きる悲しみにどう付き合うか！医療はどう寄り添えるか！」との高遠なる内容の話の話をわかり易く且つ宗教観を踏まえながら心に沁みる講義をされました。これからの医療のあり方や我々の心の持ち方など考えさせられる内容の濃い講演でした。



次に室伏 由佳先生による講演「スポーツにおける身体との対話」ではアスリートの日常での身体づくり方や誤ったコンディショニングによる自己管理の難しさなど大変興味深い話をされました。自分の失敗談話を惜しげもなく話してこれからのアスリートに対する警鐘を提案してくれました。

講演が終了後、我が杉田会長が紫綬褒章のお祝いと会長賞の全国支部の会員の皆さんの表彰が行われ厳かの内に式典が行われました。

その後は全鍼名物の懇親会が楽しく行われました事を報告させていただきます。

今回参加されなかった皆さんも次回は是非参加していただければと思います。

船橋市はり師会 顧問 藤林 克仁

続きまして、米良先生

(3) 東洋療法推進大会 in 東京 に参加して 米良 喜久男

朝から雨、今日は記念式典も含め盛りだくさんの企画がなされているようで楽しみにしている。私は帯津先生の講演の中で心に残りました話をします。

先生は日々の生活に楽しさを感じ今日の仕事は今日の内に、夕食後は働かない。をもって、生活のリズムを壊すことなく悔いの残らない生活を過ごす為に、一日の始まりを午前2時半にし、3時半には車が迎えに来て病院に出勤。事務処理を行う。5時半には体育館でヨガを行い、夕方6時半には夕食の膳に付く。そして、その日のおかず会った最高のお酒をいただく。

健康診断は毎年必ず受ける。でも、結果は聞かない。

細事は気にしない。でも、悔いは残さない。と。

私も毎日お酒を飲む。健康に感謝し、働けたことに感謝をし、今日も美味しいお酒の飲むことに感謝をします。



最後に、椎名から

(4) 全鍼の杉田会長が、旭日章受章され、祝賀会がありました。

当会の会長が、勲章をいただくことができ、大変光栄だと思ったのですが、それよりも、東京の実行委員だった先生が、「お礼の言葉」の中で、言った言葉が心に残りました。

杉田会長は、祝賀会であるにもかかわらず、「俺の事はすこしでいい。このことを、会の発展に役立ててくれ。」と言ったそうです。人は皆、自分のことを見てほしいと思います。だから、こういった場面では、華やかに祝ってほしいと思うものです。なのに、「会のために時間を使ってくれ。」

そう言える先生だから、叙勲があったのかな・・・と、思いました。

「いつか、会のために、懸命に働きながらも、自分を抑えられる人になりたいですね。」



2. 第25回福像めぐりチャリティーマッサージを開催しました。

10月2日、晴れわたった絶好のハイキング日和の中、福像めぐりが開催されました。当会でも、恒例のチャリティーマッサージのブースを出展しました。

県の方から、濱田、宮永、桜井の各先生、当会から室田、藤林、木村、米良、阿比留、椎名の6名、学生さんから、加崎、牧野、丸山（2名）の参加がありました。



収益金の一部、10000円を寄付させていただきました。

来年は、皆様の参加を、お待ちしております。

会計報告

収入	マッサージ売り上げ	3 6 5 0 0 円
	<u>募金</u>	<u>1 1 0 0 円</u>
	計	3 7 6 0 0 円
支出	義援金	1 0 0 0 0 円
	参加者日当（交通費）	1 0 0 0 円×1 4 人=1 4 0 0 0 円
	ボランティア募集印刷代	1 2 4 2 円
	福蔵参加うち合わせ日当（室田）	2 5 0 0 円×2 回=5 0 0 0 円
	<u>雑費（ベット送付代、その他）</u>	<u>1 6 2 0 3 円</u>
	計	4 6 4 4 5 円
差引	3 7 6 0 0 円－4 6 4 4 5 円＝△8 8 4 5 円	

8 8 4 5 円を年会費より支出させていただきます。

参加して下さった先生方、お疲れ様でした。会の宣伝活動として、定着はしてきましたが、毎年、マイナスが出るというのも、厳しい現実です。

今年度は、室田先生の好意で、ベットの返却を自ら行っていただき、9000 円程度の削減ができましたが、ベットの送料だけで、片道 9180 円、往復ですと 18360 円かかってしまいます。椅子のみという選択肢もありますが、ちょっと、貧弱な感じになります。

いい案がありましたら、連絡をお願いいたします。



編集後記

早いもので、今期もうじき終わります。皆様には、どのような一年だったのでしょうか？ 昨夏に、パラリンピックが開かれました。その中の記事に、「ボランティアをした方が、障害のある選手を介助をしようと思っていたら、選手の方は、ボランティアの方よりもより自立していたので、驚いてしまった。」という記事がありました。それぞれが、自立をしていないと、仲間と協力し助け合うということも、困難になります。会の運営を考えるにあたって、考えさせられる一文でした。

（文責 椎名喜代美）

